

地域観光ガイドに関する活動

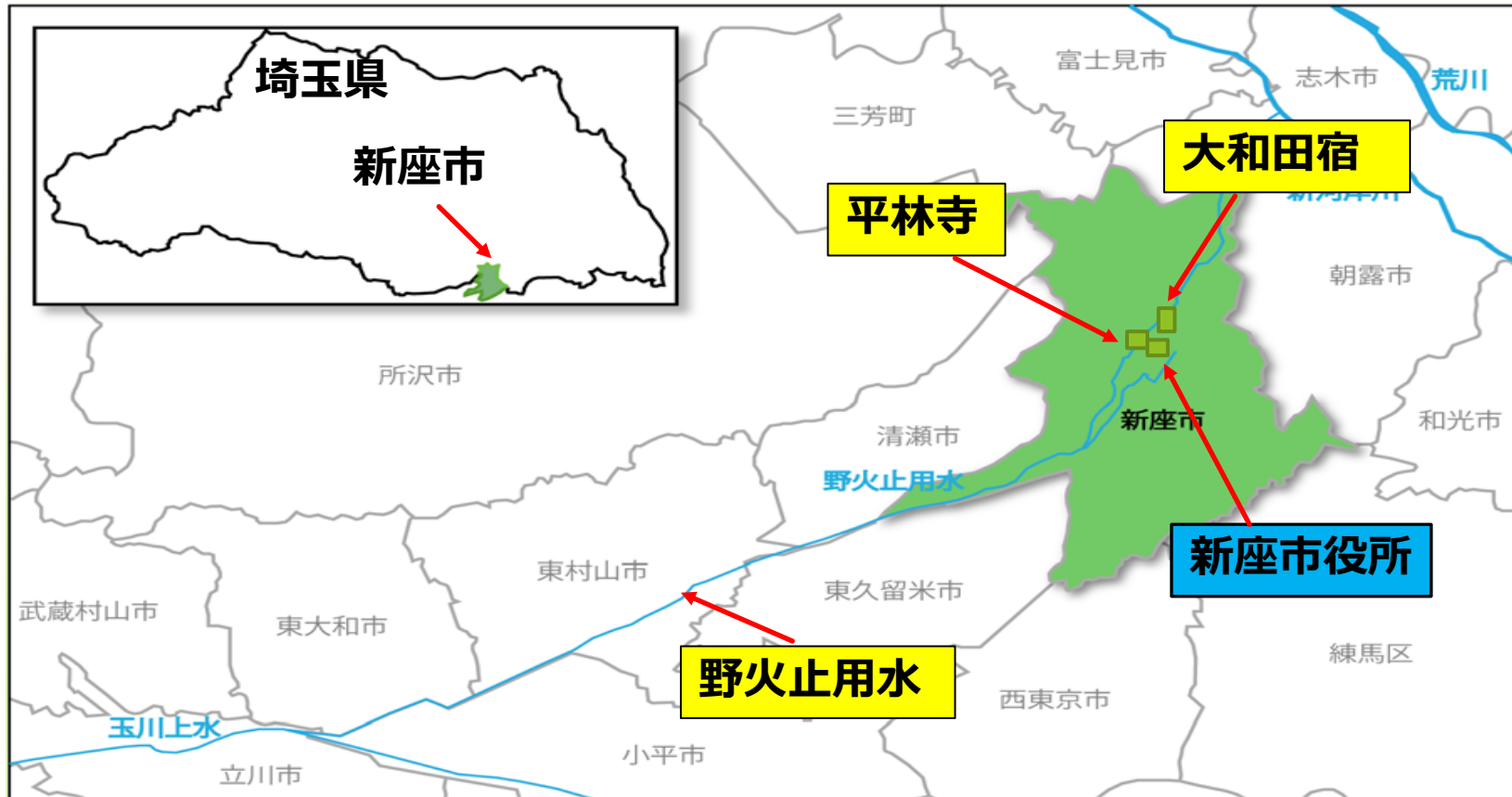
RSSC 1期生 倉嶋恒雄

新座市観光ボランティア ガイド協会



- 平成20年6月に発足
- 平林寺、野火止用水、大和田宿ガイド
・ガイド料金・・・無料
- ガイド人数69人（H28年4月現在）
 - ・男性・・・45人
 - ・女性・・・24人
 - ・平均年齢・70歳（推定）

新座市の位置



- 埼玉県の最南端に位置、都心から25キロ（人口128千人）
- 武蔵野台地の丘陵地帯
- 奈良時代に新羅から来た人々のため「新羅郡」が置かれ、市名の元になった

観光ボランティアガイドになるには

- 市民大学・観光都市づくり学科を受講（6月～12月・全16回）
 - ・ 会場は立教大・跡見女子大
 - ・ 市長から修了書授与・観光都市づくりサポーターになる
- 観光ボランティアガイド養成講座を受講（9月～3月・全14回）
 - ・ 座学及びガイド現場
 - ・ 新座市学芸員・ガイド協会員指導
- ガイド委嘱状授与・各班に配属
 - ・ 各班でガイド実践教育

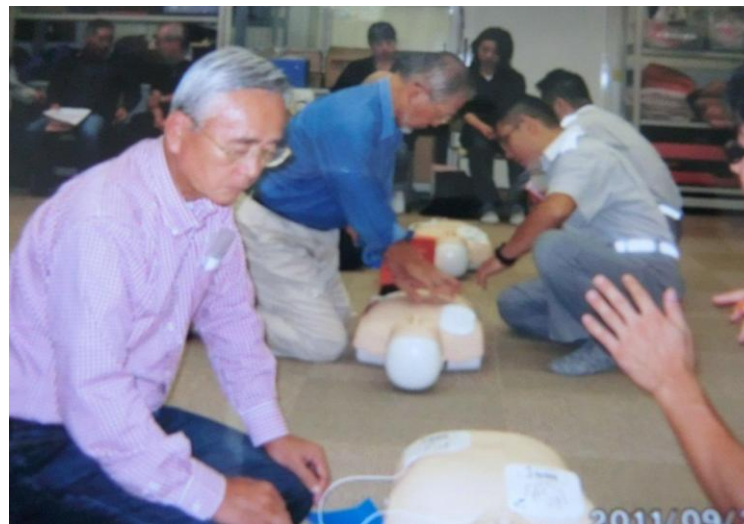
ガイドの様子と各種研修一例



ガイドの様子



座禅研修



救命研修

ガイド心得

- ①挨拶は明るくさわやかに・服装は清潔をモットーに
- ②下ネタ厳禁・説明は腹八分目
- ③知ったかぶりしない・お客様の興味の対象見極め
- ④スケジュール確認、禁止事項ははっきり伝達
- ⑤終わりの挨拶は簡潔に、次回の来訪呼びかけ

ガイド協会の協力先

- 駅からハイキング（別紙パンフレットご参照）
 - ・ JR東日本
 - ・ 跡見女子大学観光学科
- HAGネット（ふるさとの緑と野火止用水を育む会）
 - ・ 別紙しおりご参照
 - ・ 文科省の知と地の連携(地方創生のための「人」育成)
 - ・ 新座市では十文字女子大学（12団体、6部署と協力）
 - ・ 全国の42大学認可

「駅からハイキング」パンフレット

The brochure is divided into two main sections. The top section is for the Maifu course, titled '駅からハイキング & ウォーキングイベント' (Station Hiking & Walking Event). It features a route map starting from Maifu Station and passing through Maifu Station East, Maifu Station West, Maifu Station South, Maifu Station North, Maifu Station East, Maifu Station West, Maifu Station South, Maifu Station North, Maifu Station East, Maifu Station West, Maifu Station South, Maifu Station North. The bottom section is for the Niisewa course, titled '駅からハイキング' (Station Hiking). It features a route map starting from Niisewa Station and passing through Niisewa Station, Niisewa Station East, Niisewa Station West, Niisewa Station East, Niisewa Station West, Niisewa Station East, Niisewa Station West, Niisewa Station East, Niisewa Station West, Niisewa Station East, Niisewa Station West. Both sections include photos of cherry blossoms and participants, and text describing the routes and activities.

- JR東日本は電車に乗ってもらおうことでお客様確保
- お客様は参加ポイント獲得
- 跡見女子大学はお客様をキャンパスにご案内しPR
(跡見女子大学生が、ガイドやお客様と一緒に歩く)

HAG(ハグ) ネットしおり (十文字女子大学)

● ふるさとの緑と野火止用水を育む会—12団体の紹介 (HUGネット)



● 西分町内会

一人ひとりが主役となり、新旧融和を原点到、しだれ桜の創生や「ホタル飛ぶ清流をもう一度」へのチャレンジ等、活気あふれる活動を展開中。



● 野火止ホタルの里を作る会

来年のホタルの幼虫が育っています。エサになる「カワニナ・たにし」の確保と飼育用の水替えなど毎日が忙しいです。



● 新産市観光ボランティアガイド協会

新産市を訪れる観光客の皆様へ、平林寺、野火止用水を中心とした新産市の歴史、文化、自然などをご案内しています。



● チーム・キャロット

子供たちが絵や夢を紙袋に書き、LEDライトを入れて野火止用水沿いに飾り、夏のひと時を楽しむ灯明まつりを行っています。



● 雑木の会

雑木林の下刈りなどの保全活動とフィールドで子供たちに自然を体験させる森の子サポート活動を行っています。(写真は森の子くらぶ「落ち葉掃き」)



● サンアール'10

木漏れ日の中、人々が野草を愛で、癒いを楽しむ雑木林を目指して第三土曜日に野火止緑道沿いの森を整備しています。



● 川爺

水草が深い、小魚泳ぐ野火止用水を目指し、毎月第2木曜日に西分橋流域の清掃と植栽等の環境整備を続けています。(写真は川爺の活動風景)

● 武蔵野野鳥の会

武蔵野に軸足をのこした探鳥のほか、平林寺境内林を積みかとする動物物の調査を行っています。(写真は平林寺での植生調査)



● 野火止用水美化・ピカ隊

野火止用水周辺の清掃美化活動を定期的に行っています。(写真は夏の活動風景)



● 新産市環境保全協力員の会

まち美化・エコライフ・統括の3部会構成で、街の清掃・エコライフ啓発・研修会企画、広報誌発行等を行っています。



● 新産市グリーンサポーター

「木漏れ日のさす美しい雑木林」を維持・管理していくため、月4回程度、新産市総合運動公園等で活動しています。



● 新産1丁目町内会「シンボリン」

残り少ない貴重な雑木林を守り、活用するために、野外コンサートやカブトムシの幼虫を育てたりしています。



野火止用水周辺



● みどりと調和する良好な景観の形成



ガイド実績（最近の5年間）

	お客様	ガイド延べ人数
平成22年	1,767人	415人
平成23年	2,068人	500人
平成24年	1,955人	520人
平成25年	2,116人	535人
平成26年	2,699人	675人

- 小学生の「社会科見学」や「駅からハイキング」は、お客様人数には入っていない
- お客様の平均年齢はガイドとほぼ同じ

ガイドこぼれ話

■ 失敗したこと

- ・ 知恵伊豆の墓前での一言で、その場の空気が凍りついてしまった。その一言とは・・・

■ 困ったこと

- ・ 元校長先生の団体の中に歴史学者。
その人が思わぬことを・・・
- ・ 説明するそばから先回りして口出しする人がいた。
その対策として・・・